

2025年3月期 決算説明会

2025年4月25日
株式会社アイシン

2025年3月期 決算のポイント

実績

売上収益は、パワートレインユニット販売台数の減少などにより、前期に比べ減収。
営業利益は、売上減少や人・将来への投資があったものの、円安効果や
企業体質改善・構造改革の成果により、品質関連費用を計上した前期に比べ増益。

業績 予想

売上収益は前年同水準の中、電動化商品の拡販、商品競争力強化・グループ
経営強化を加速させる一方、成長へ向けた人・将来への投資拡充を推進する。
また、関税影響は価格転嫁のタイミングずれのリスク等も踏まえ、
一定程度を織り込みながらも、営業利益は前年同水準の2,050億円を見込む。

株主 還元

当期の年間配当は60円*（期末配当30円）、来期予想は65円
資本コスト低減に向けた資本政策の一環である自己株式取得1,200億円を予定。
今後も中長期での安定的・継続的な株主還元を実施していく。

*株式分割前換算：年間180円（期末配当90円）

2025年3月期 実績

1

2025年3月期 実績 決算サマリー

() 内は売上収益比率【単位：億円】

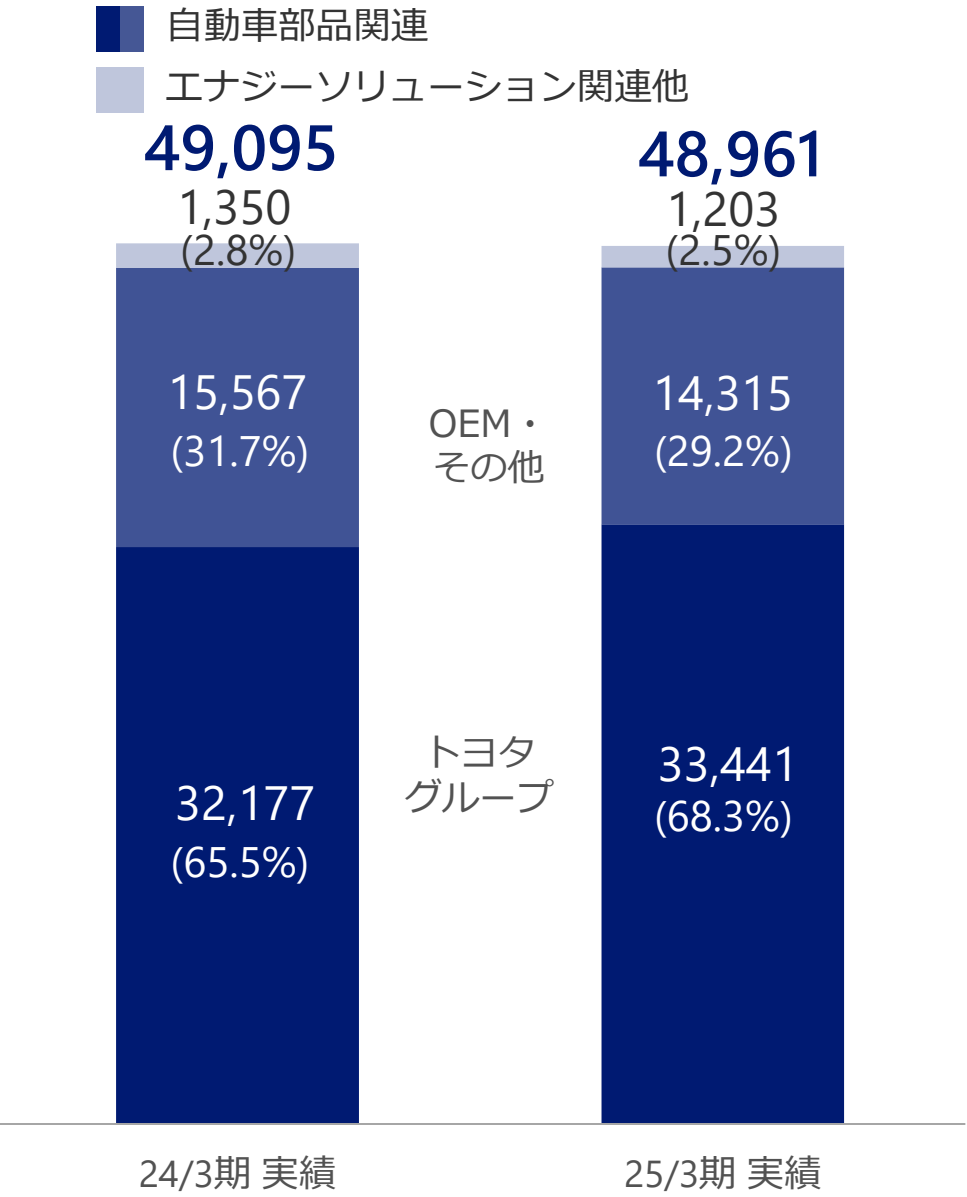
	2024年3月期 実績		2025年3月期 実績		増減	増減率 %
売上収益	49,095	-	48,961	-	▲134	▲0.3
営業利益	1,433	(2.9)	2,029	(4.1)	+596	+41.5
税引前利益	1,498	(3.1)	1,734	(3.5)	+236	+15.7
当期利益*1	908	(1.8)	1,075	(2.2)	+167	+18.5

*1：親会社の所有者に帰属する当期利益

前提条件	為替 レート	米ドル	145	円	153	円	+8	円	+5.5
		中国元	20.2	円	21.1	円	+0.9	円	+4.5
	トヨタ生産台数		973	万台	976	万台	+3	万台	+0.3
	パワーtrainユニット 販売台数*2		1,052	万台	1,014	万台	▲38	万台	▲3.6
	(内 電動ユニット*3)		(226)		(231)		(+5)		(+2.1)

*2：AT, CVT, HEV, eAxleの合計販売台数 *3：HEV, eAxleの合計販売台数

2025年3月期 実績 得意先別売上収益



【単位：億円】

得意先別（OEM・その他）				
得意先	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減	増減率 (%)
Stellantis	2,819	2,213	▲606	▲21.5
スズキ	1,685	1,879	+194	+11.5
VW & Audi	1,940	1,581	▲359	▲18.5
ボルボ	1,100	942	▲158	▲14.4
ホンダ	844	890	+46	+5.5
日産	790	731	▲59	▲7.4
三菱	783	709	▲74	▲9.5
吉利汽車	422	551	+129	+30.5
第一汽車	437	479	+42	+9.6
長安汽車	476	477	+1	+0.2
その他	4,271	3,863	▲408	▲9.6
合計	15,567	14,315	▲1,252	▲8.0
(参考) 中国民族系	2,184	2,229	+45	+2.0

2025年3月期 実績 所在地別セグメント

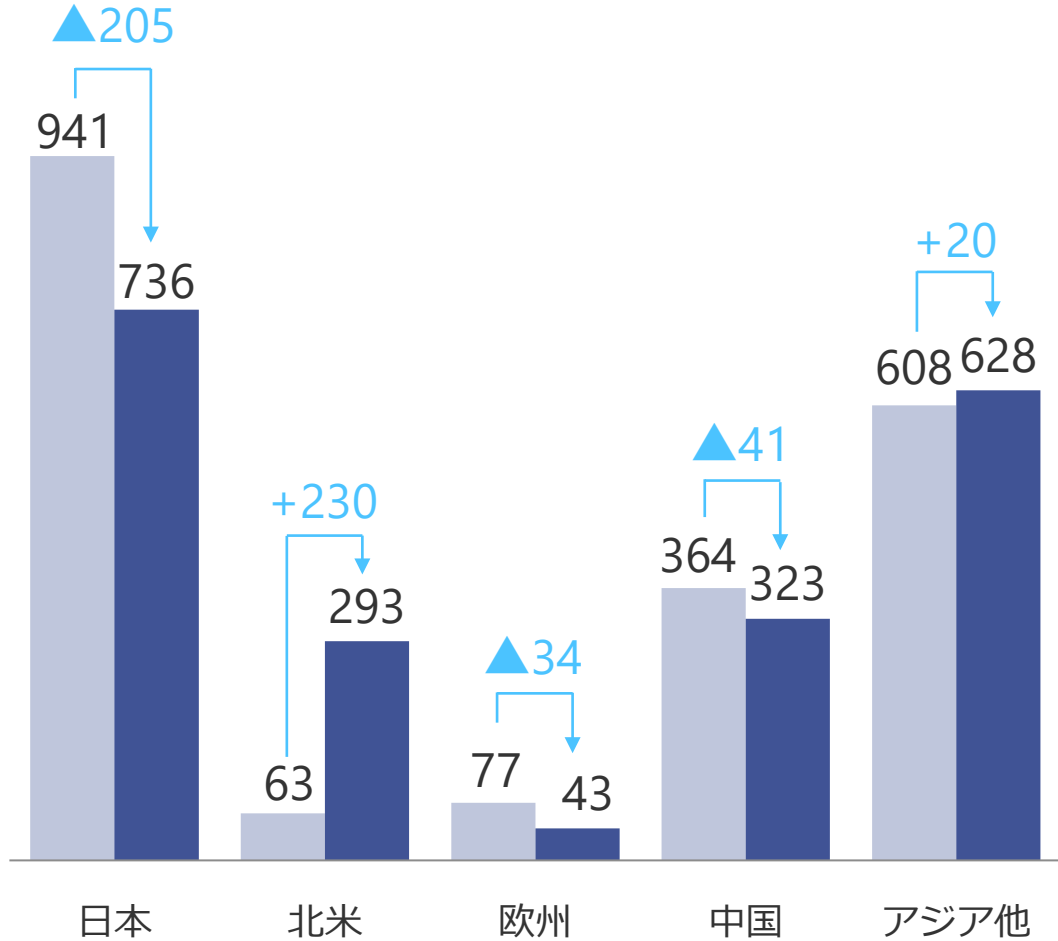
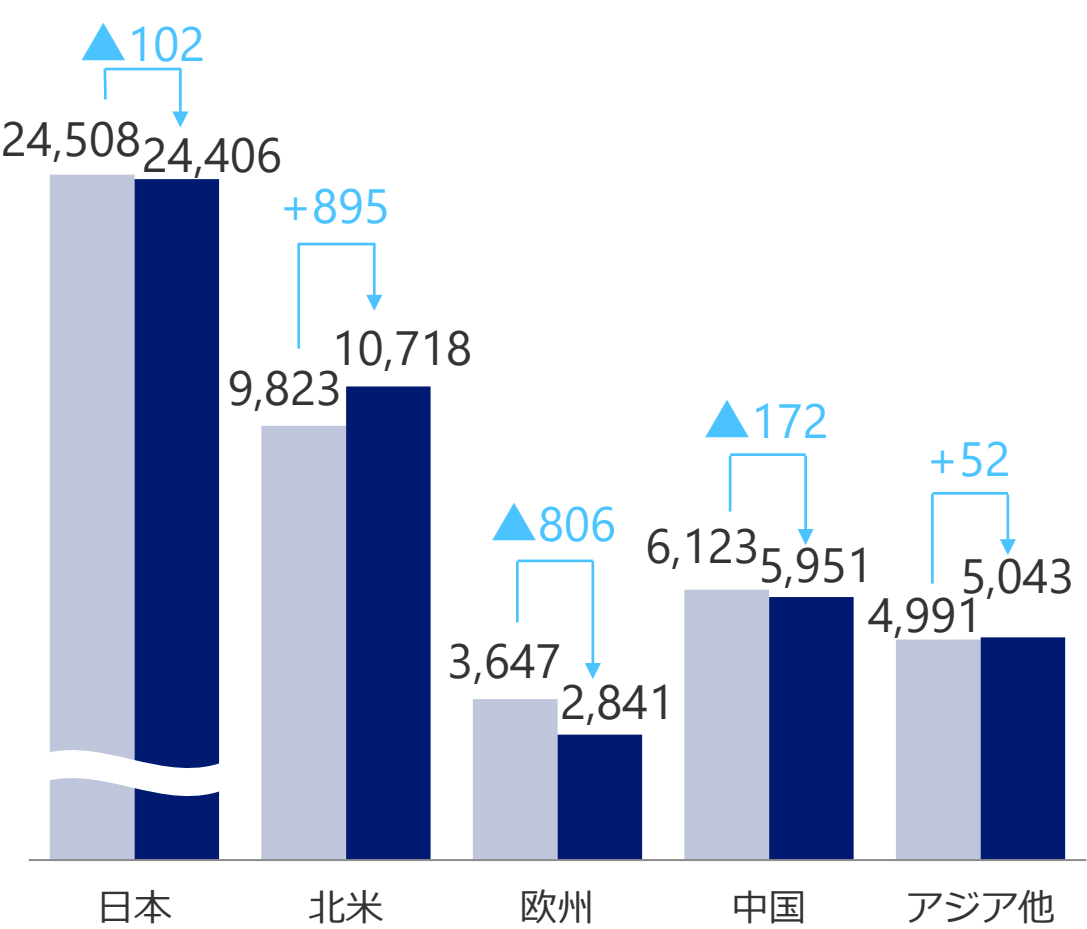
2024年3月期 実績（品質関連費用除く）

2025年3月期 実績

【単位：億円】

売上収益（前期比▲134）

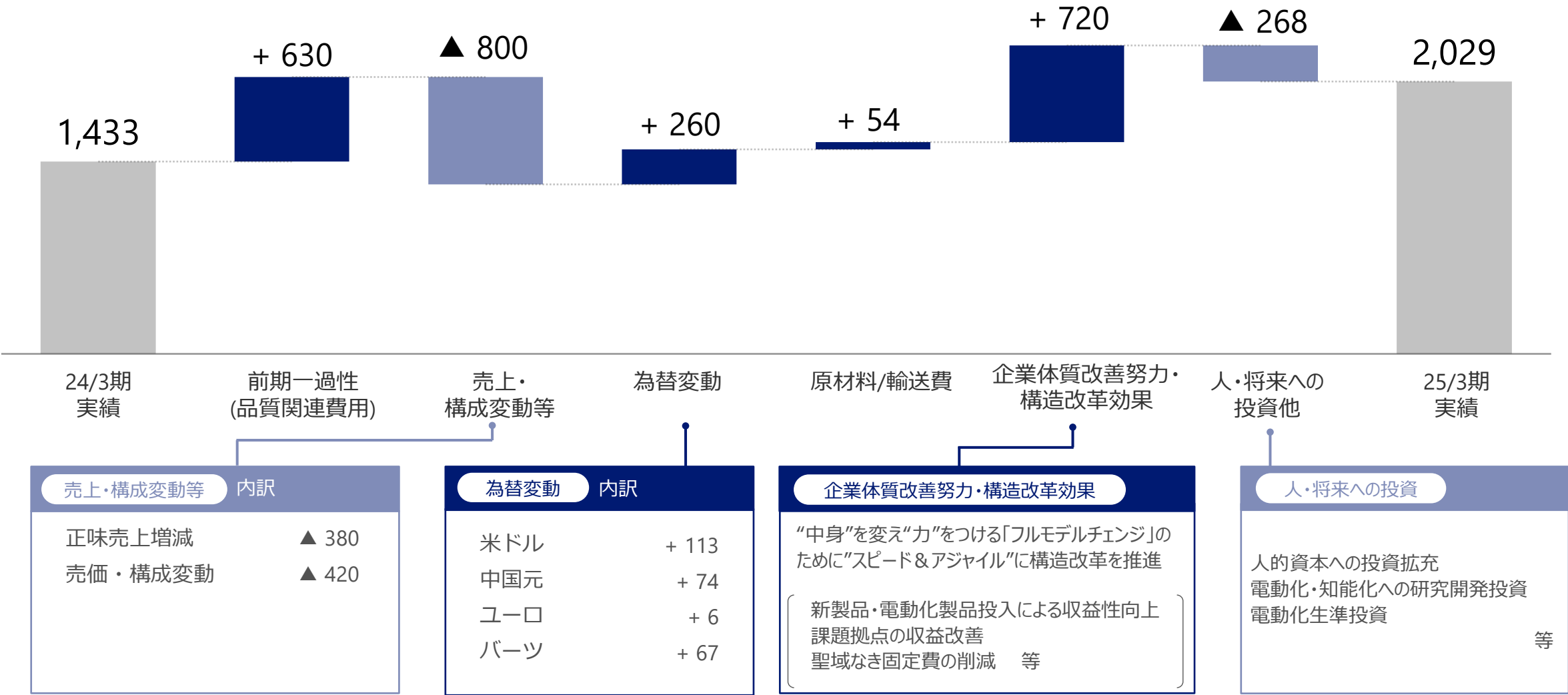
営業利益（前期比▲34 *） *品質関連費用630億円除く



※外部顧客への売上収益

2025年3月期 実績 営業利益増減

【単位：億円】



2026年3月期 予想

2

2026年3月期 予想 決算サマリー

() 内は売上収益比率【単位：億円】

	2025年3月期 実績		2026年3月期 予想		増減	増減率 %
売上収益	48,961	-	49,000	-	+39	+0.1
営業利益	2,029	(4.1)	2,050	(4.2)	+21	+1.0
税引前利益	1,734	(3.5)	2,150	(4.4)	+416	+24.0
当期利益*1	1,075	(2.2)	1,250	(2.6)	+175	+16.2

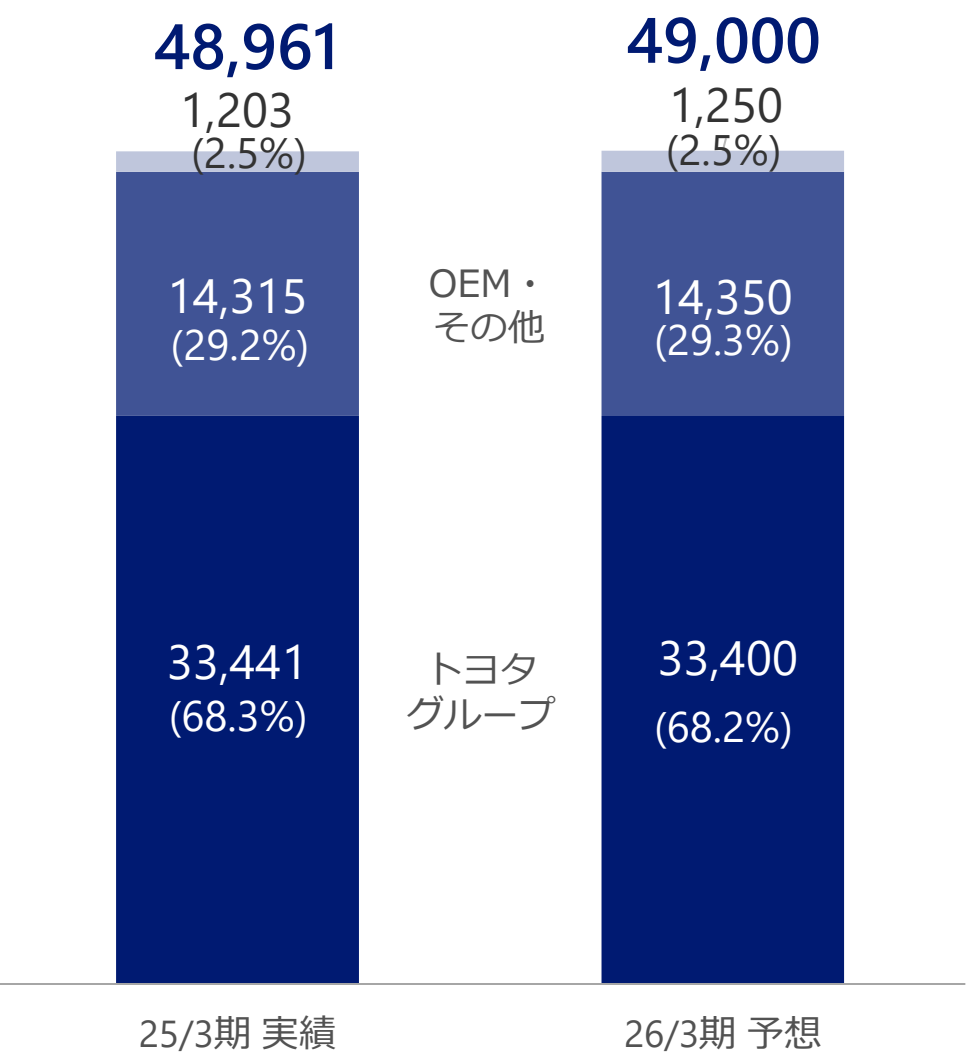
*1：親会社の所有者に帰属する当期利益

前提条件	為替レート	米ドル	153	円	145	円	▲8	円	▲5.2
		中国元	21.1	円	20.0	円	▲1.1	円	▲5.2
	パートレインユニット 販売台数*2		1,014		1,050		+36		+3.5
				万台		万台		万台	
	(内 電動ユニット*3)		(231)		(332)		(+101)		(+43.5)

*2：AT, CVT, HEV, eAxleの合計販売台数 *3：HEV, eAxleの合計販売台数

2026年3月期 予想 得意先別売上収益

- 自動車部品関連
- エネルギーソリューション関連他



【単位：億円】

得意先別（OEM・その他）				
得意先	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	増減率 (%)
スズキ	1,879	2,100	+221	+11.7
Stellantis	2,213	1,950	▲263	▲11.9
VW & Audi	1,581	1,340	▲241	▲15.3
ボルボ	942	850	▲92	▲9.8
ホンダ	890	820	▲70	▲8.0
日産	731	700	▲31	▲4.4
三菱	709	700	▲9	▲1.3
広州汽車	274	590	+316	+114.6
吉利汽車	551	480	▲71	▲13.0
第一汽車	479	450	▲29	▲6.2
その他	4,066	4,370	+304	+7.6
合計	14,315	14,350	+35	+0.2
(参考) 中国民族系	2,229	2,350	+121	+5.4

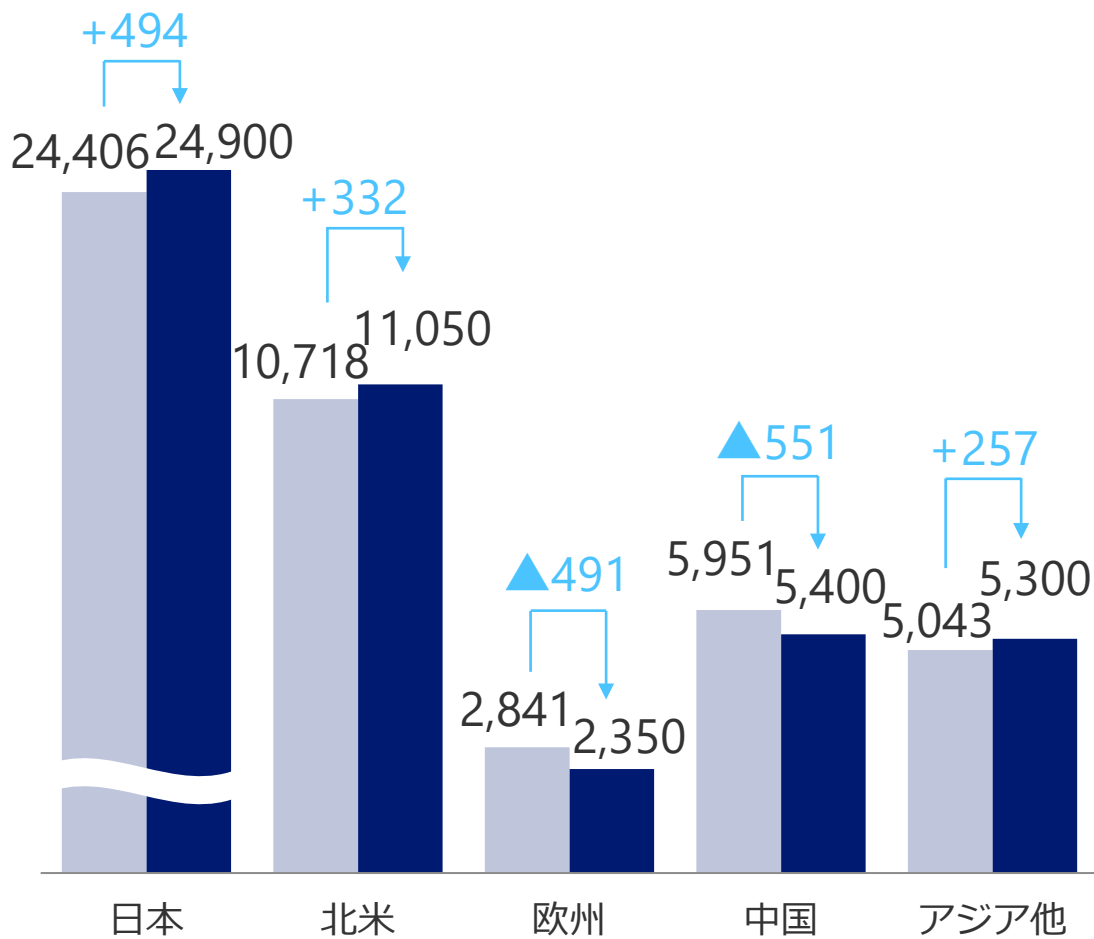
2026年3月期 予想 所在地別セグメント

2025年3月期 実績

2026年3月期 予想

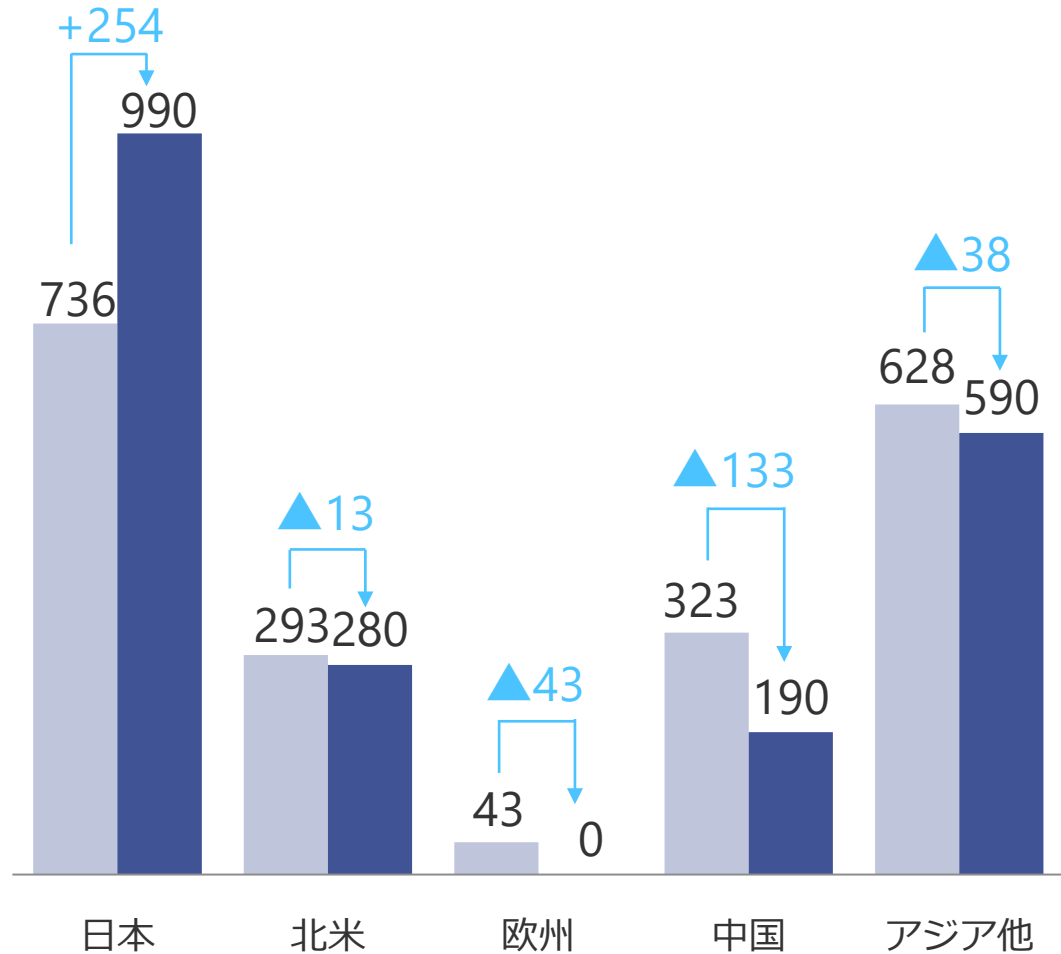
【単位：億円】

売上収益（前期比+39）



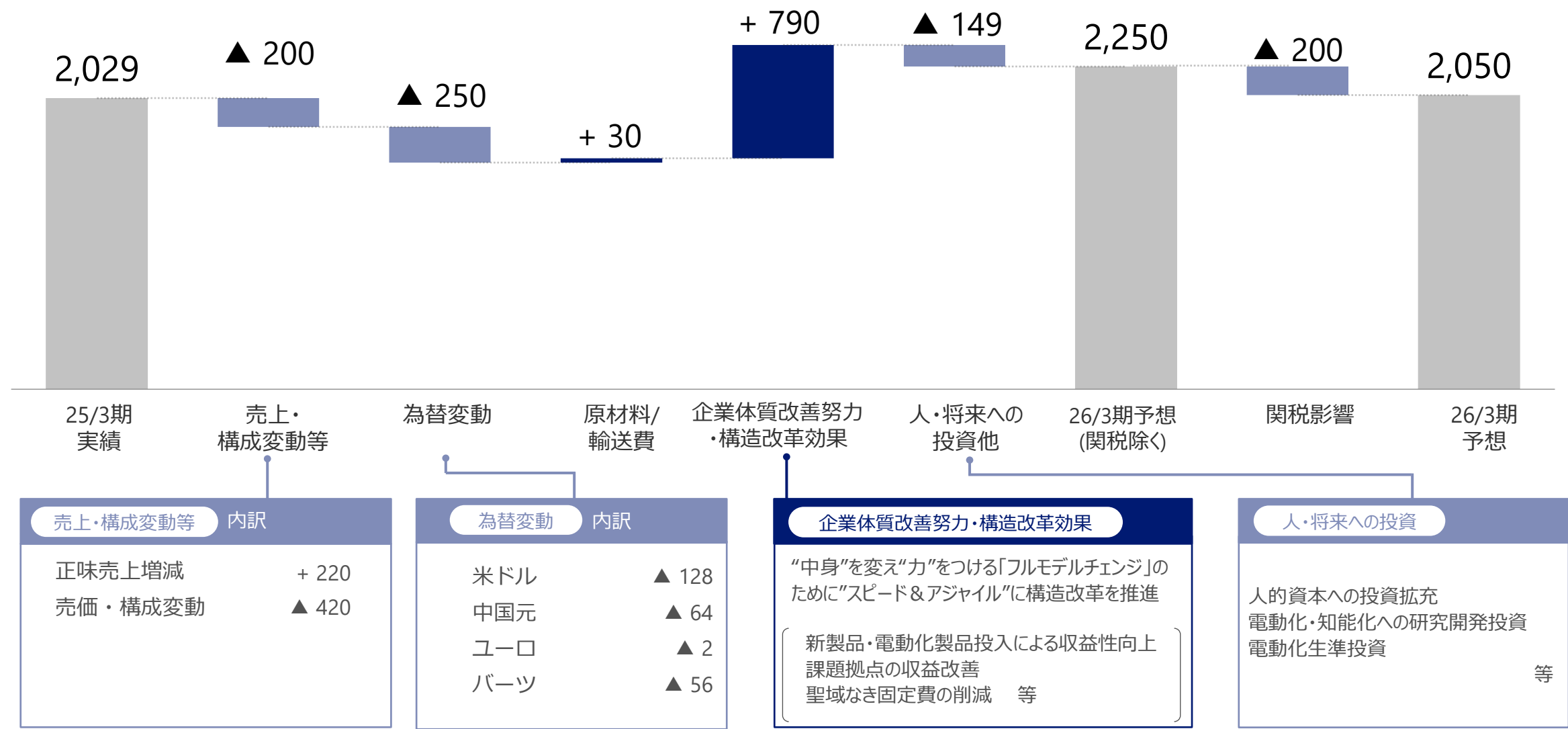
※外部顧客への売上収益

営業利益（前期比+21）



2026年3月期 予想 営業利益増減

【単位：億円】

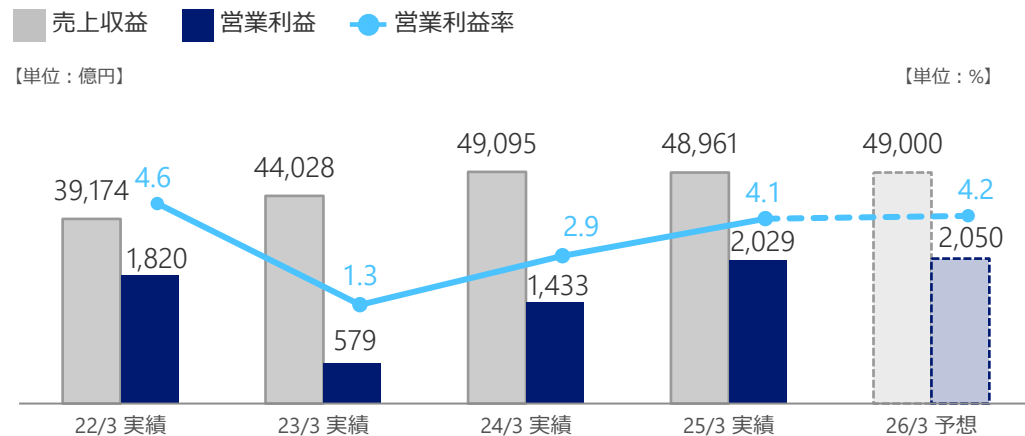


参考情報

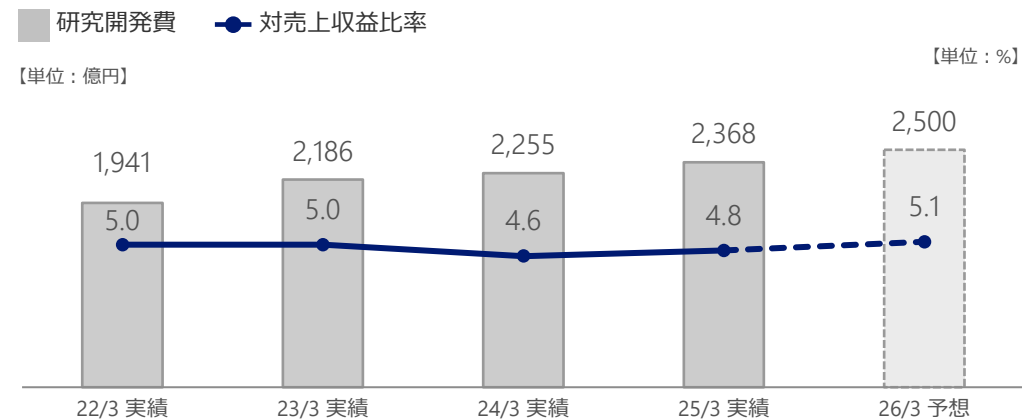
3

業績ハイライト

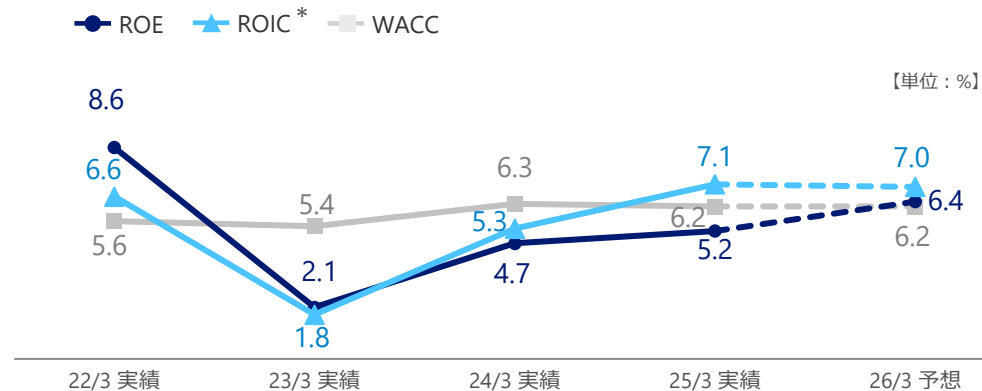
売上収益／営業利益／営業利益率



研究開発費／対売上収益比率

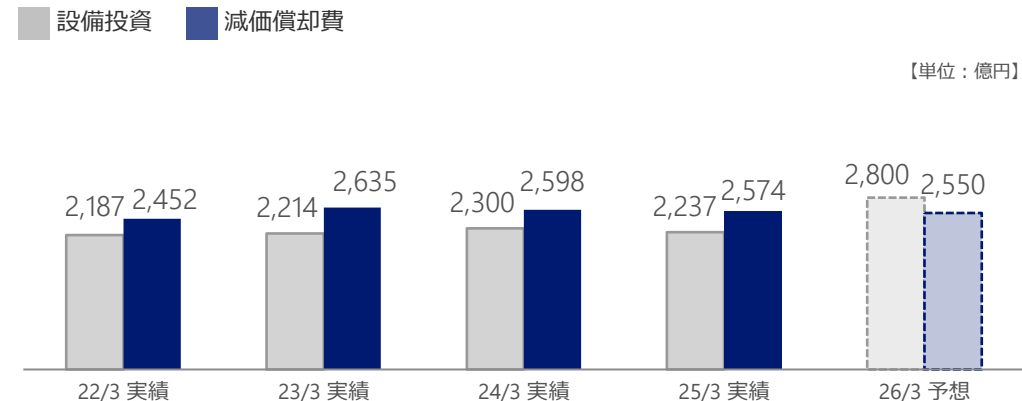


自己資本利益率／投下資本利益率／加重平均資本コスト



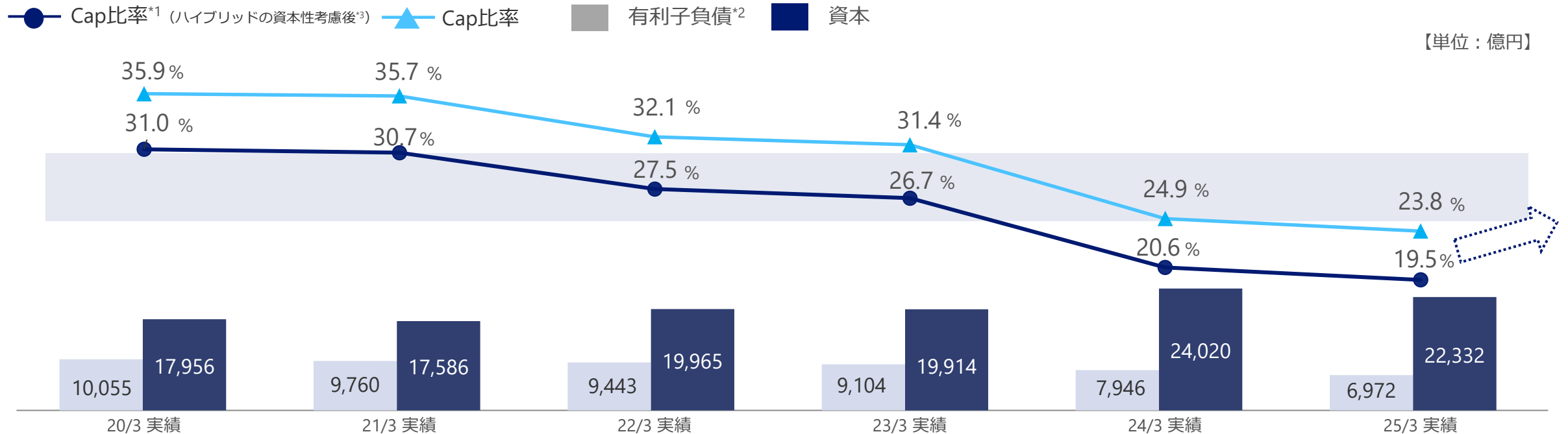
*税引き後営業利益÷(棚卸資産+有形固定資産+無形資産)

設備投資／減価償却費



資本政策

「財務の安全性」と「資本の効率性」のバランスを取りながら、企業価値の向上を図ることを基本方針としています。
そのバランスを考える上で、**キャピタリゼーション比率^{*1}**が25%～30%となるのが最適な資本構成であると考えています。



足許の財務安全性の高まりを受け、来期は資本効率性の向上を目的に、過去最大の自己株取得（1,200億円を上限）及び1株当たり配当（DPS）を決定。

今後も機動的な自己株取得を中心に積極的な株主還元を行い、最適な資本構成水準を目指す。

*1：キャピタリゼーション比率（Cap比率）＝ 有利子負債 / （有利子負債 + 資本）

*2：有利子負債＝社債及び借入金＋リース負債

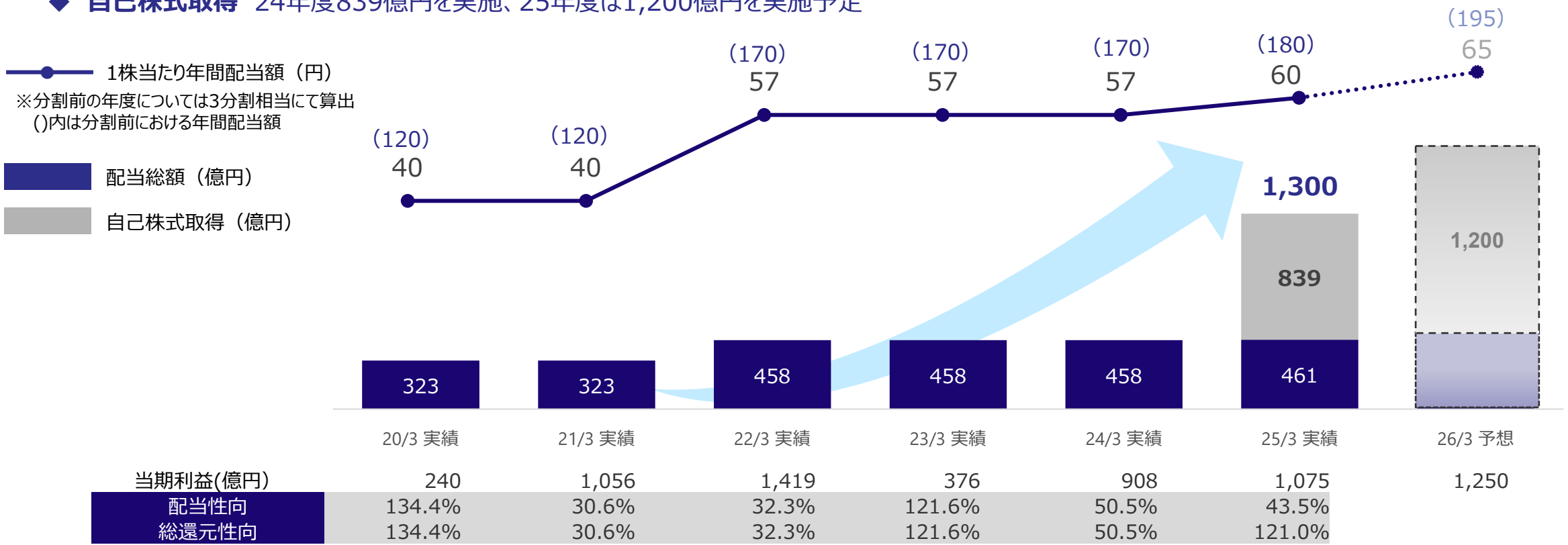
*3：ハイブリッド調達が残高2,525億円の50%を格付上の資本とみなしている

株主還元

中長期での安定的・継続的な株主配当を基本とし、更なる企業価値の向上と資本効率性向上に向けて、機動的な自己株式取得など、株主還元強化を図っていきます。

25年度の1株当たり年間配当額及び総還元額は過去最高を予定

- ◆ 配当 24年度の年間配当は60円（中間30円/期末30円）、25年度は5円増配の65円（中間30円/期末35円）を実施予定
- ◆ 自己株式取得 24年度839億円を実施、25年度は1,200億円を実施予定





【将来の見通しに関する注意事項】

当社が開示する業績予想、将来の見通し、戦略、目標等のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は将来の見通しに関する記述であり、これらは、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動要因によって、開示した業績予想等と異なる結果になる可能性があります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社および当社の従業員等は一切責任を負いません。